

奈良県中央卸売市場の再整備(インバウンドを含む来訪者のための「食」を活用した拠点整備について)

【担当省庁】 観 光 庁

奈良県における取り組み

- 奈良県中央卸売市場では、市場機能の高度化と合わせて、市場と一体となった「食」をテーマとした新たな賑わいゾーン創出に向け、再整備を進めている。

《中央卸売市場再整備の考え方》

- 新鮮で旬の食材が集まり、広い敷地を有している中央卸売市場を有効に活用
- 従来の卸売市場利用者(BtoB)に加え、インバウンドを含む観光客等(BtoC)にも楽しめる取り組みを一体的に展開
- BtoCには、「食べる」「買う」だけでなく、食材にまつわるいわれなどを「学ぶ」ことができる「イーターエリア」や、「食」をはじめとしたイベントなど様々な活用できる多目的ホールなどを計画
- 県民や観光客は、市場が目利きした安全・安心な食材を楽しみ、市場は、食材の潜在的需要の掘り起こしを図るなどの相乗効果を期待
- 再整備に当たっては、民間活力の活用を図るPFI事業等の導入を検討

○卸売機能の効率化・高性能化(BtoB)

市場の基本機能を強化し、ブランド力向上・安全安心の確保を図る

- ①川上・川下に対するコーディネート機能の強化
- ②安全・安心を確保するためのコールドチェーン(低温流通)への対応
- ③奈良市場ブランドの創出



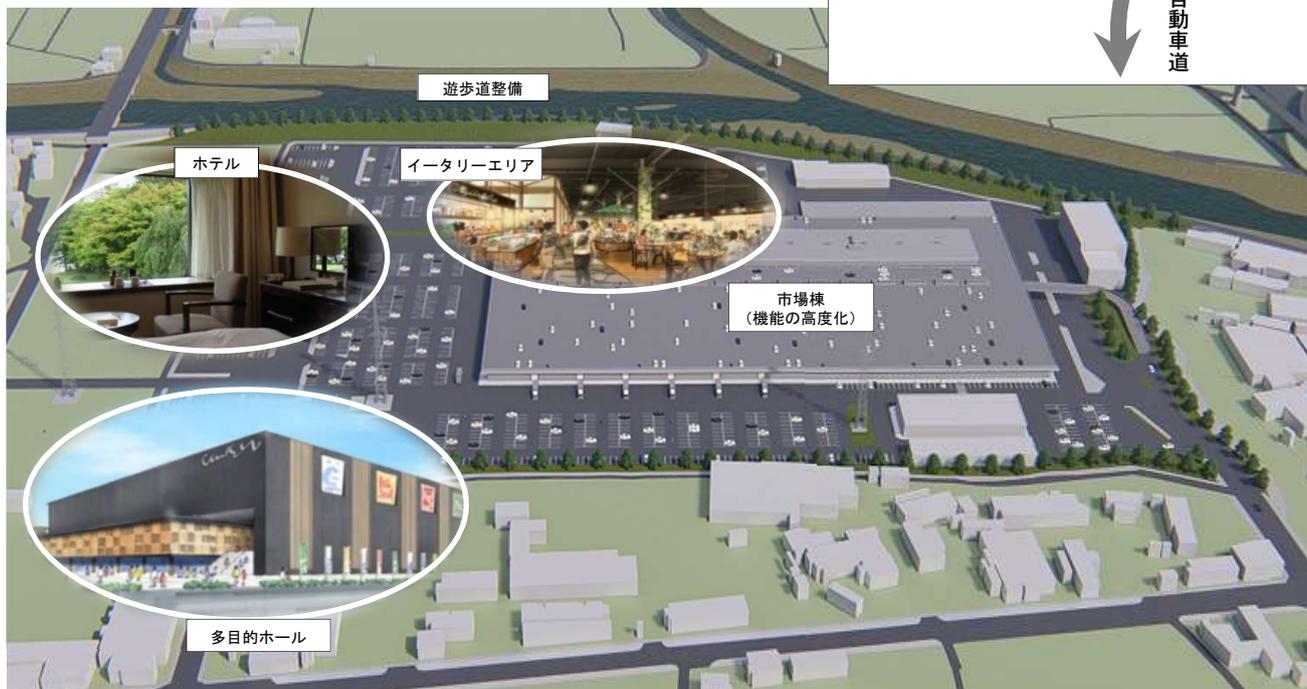
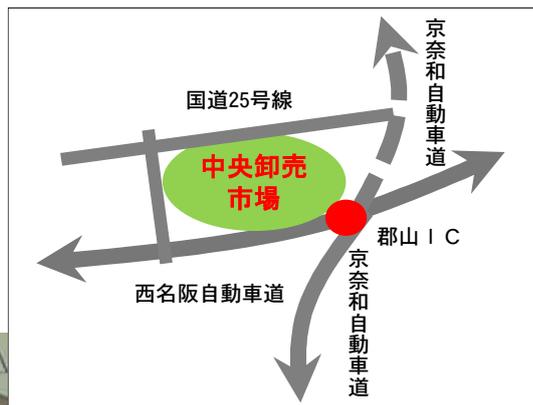
○インバウンドや国内の観光客等の一般消費者を対象とした機能の整備(BtoC)

県民や観光客が訪れる華やかで賑わいのある食材の販売と食の拠点づくり

- ①卸売市場のスリム・コンパクト化による余剰地の活用
- ②イーターエリア、多目的ホール、ホテル誘致、遊歩道等周辺環境整備
- ③BtoBとの連携による相乗効果の発揮

【施設整備のイメージ】

現有敷地15ha＋拡充敷地(予定)4ha＝計19ha



国にお願いすること

中央卸売市場の再整備にあわせ一体的に展開する「食」をテーマとした拠点整備に対する支援制度の創設をお願いしたい。

● **BtoC**として、従来の卸売機能の高度化とあわせて、市場の特性を生かして、県民やインバウンドを含む観光客が訪れる集客施設を一体的に整備し、華やかで賑わいのある食の拠点づくりを目指しているところ。

⇒ **この新たな取り組みに対する補助制度の創設等**をお願いしたい。

(参考)

● **BtoB**として、卸売市場の機能強化を図るため、閉鎖型施設による品質・衛生管理体制の構築等を計画しており、2019年度は市場施設規模の検討等、2020年度から概略設計、2021年度から基本設計を予定している。

【県担当部局】 農林部中央卸売市場再整備推進室